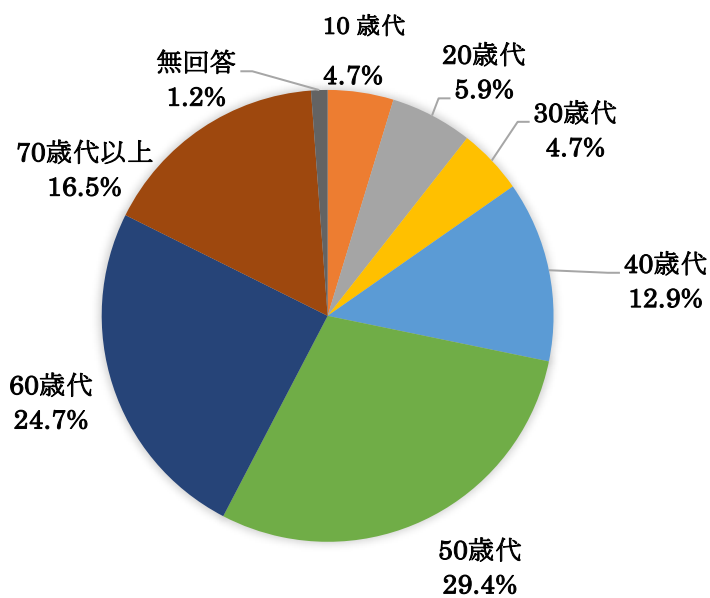


ハンセン病問題に関する「親と子のシンポジウム」 参加者アンケート集計結果

(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも 100 とは限らない。

1-1 御自身について、当てはまるものを選んでください。(年齢)

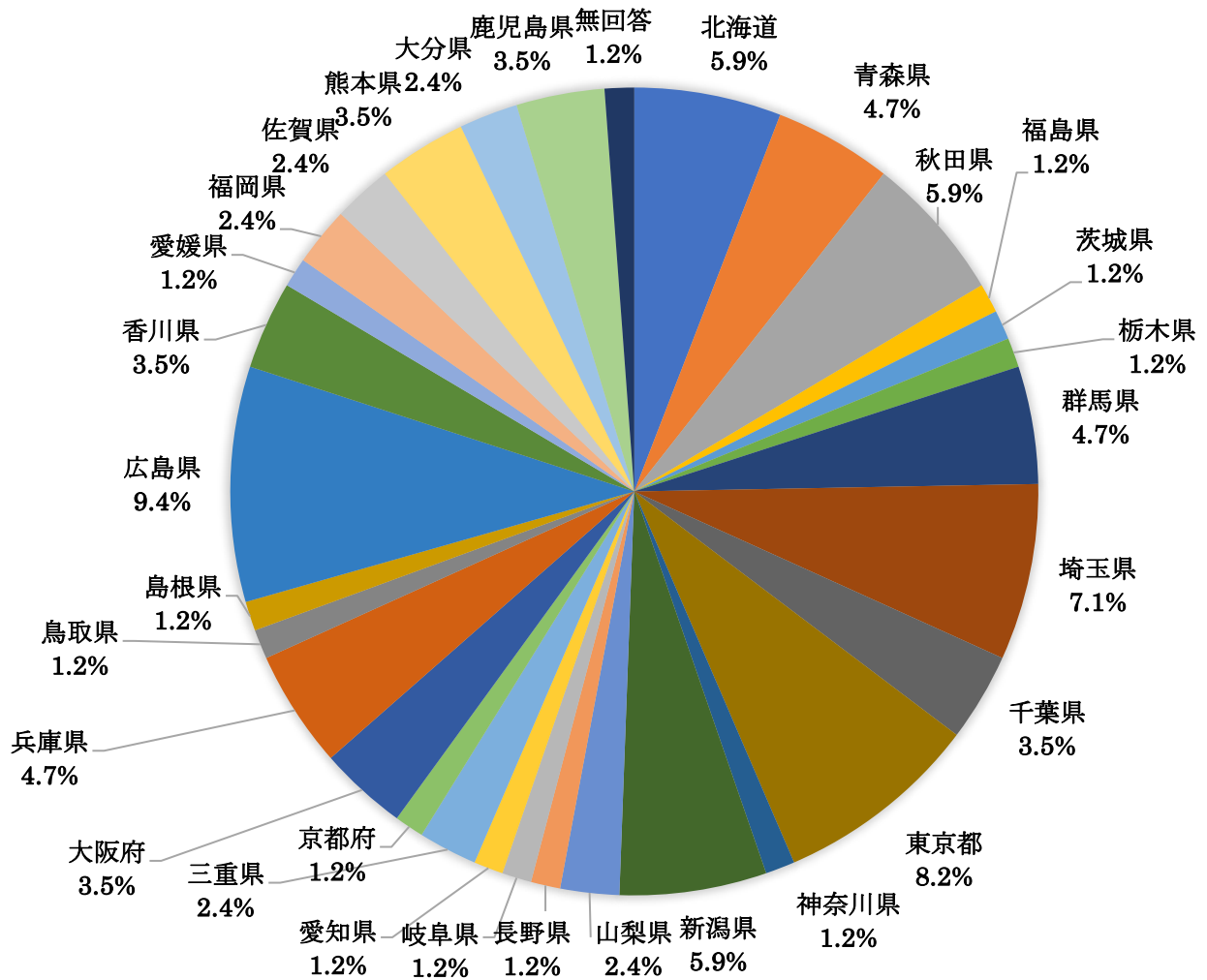
(1)	年齢	
1	10歳未満	0件
2	10歳代	4件
3	20歳代	5件
4	30歳代	4件
5	40歳代	11件
6	50歳代	25件
7	60歳代	21件
8	70歳代以上	14件
	無回答	1件
	計	85件



1-2 御自身について、当てはまるものを選んでください。(居住地)

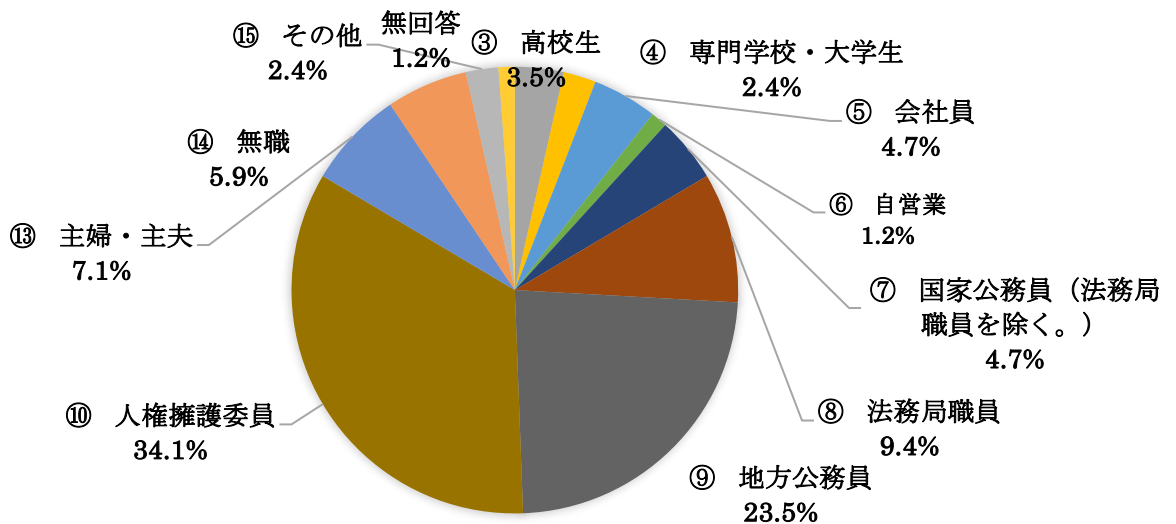
(2)	居住地	
1	北海道	5件
2	青森県	4件
3	岩手県	0件
4	宮城県	0件
5	秋田県	5件
6	山形県	0件
7	福島県	1件
8	茨城県	1件
9	栃木県	1件
10	群馬県	4件
11	埼玉県	6件
12	千葉県	3件
13	東京都	7件
14	神奈川県	1件
15	新潟県	5件
16	富山県	0件
17	石川県	0件
18	福井県	0件
19	山梨県	2件
20	長野県	1件
21	岐阜県	1件
22	静岡県	0件
23	愛知県	1件
24	三重県	2件
25	滋賀県	0件
26	京都府	1件
27	大阪府	3件
28	兵庫県	4件
29	奈良県	0件
30	和歌山県	0件
31	鳥取県	1件
32	島根県	1件
33	岡山県	0件
34	広島県	8件
35	山口県	0件

36	徳島県	0件
37	香川県	3件
38	愛媛県	1件
39	高知県	0件
40	福岡県	2件
41	佐賀県	2件
42	長崎県	0件
43	熊本県	3件
44	大分県	2件
45	宮崎県	0件
46	鹿児島県	3件
47	沖縄県	0件
48	その他	0件
	無回答	1件
	計	85件



1-3 御自身について、当てはまるものを選んでください。(職業)

(3)	職業	
1	① 小学生	0 件
2	② 中学生	0 件
3	③ 高校生	3 件
4	④ 専門学校・大学生	2 件
5	⑤ 会社員	4 件
6	⑥ 自営業	1 件
7	⑦ 国家公務員(法務局職員を除く。)	4 件
8	⑧ 法務局職員	8 件
9	⑨ 地方公務員	20 件
10	⑩ 人権擁護委員	29 件
11	⑪ アルバイト・パート	0 件
12	⑫ 派遣・契約社員	0 件
13	⑬ 主婦・主夫	6 件
14	⑭ 無職	5 件
15	⑮ その他	2 件
	無回答	1 件
	計	85 件

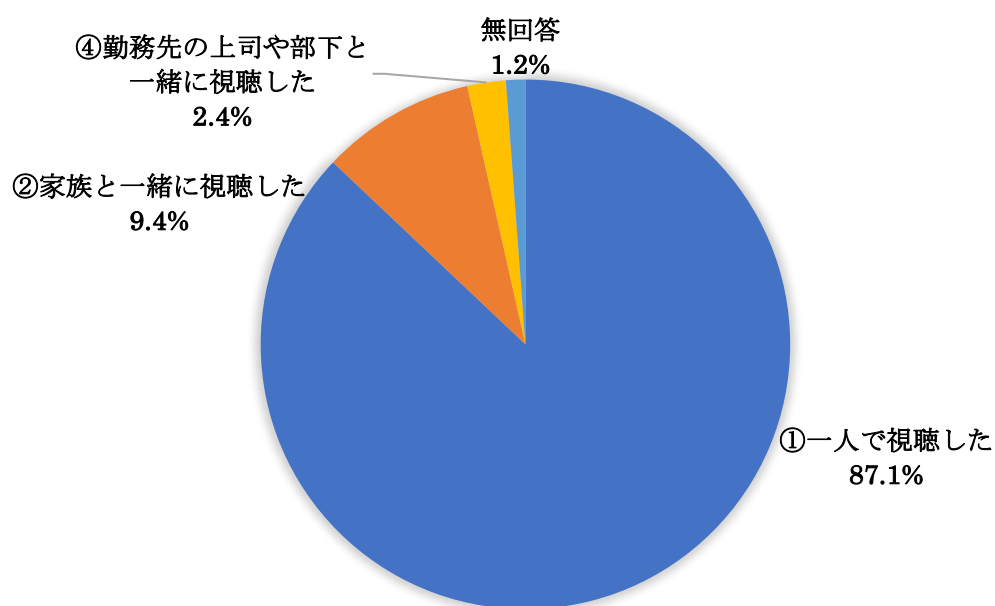


「1-3 その他」の内容

大学教員	1 件
父の介護をし、自分自身は障害者年金暮らしです	1 件
	2 件

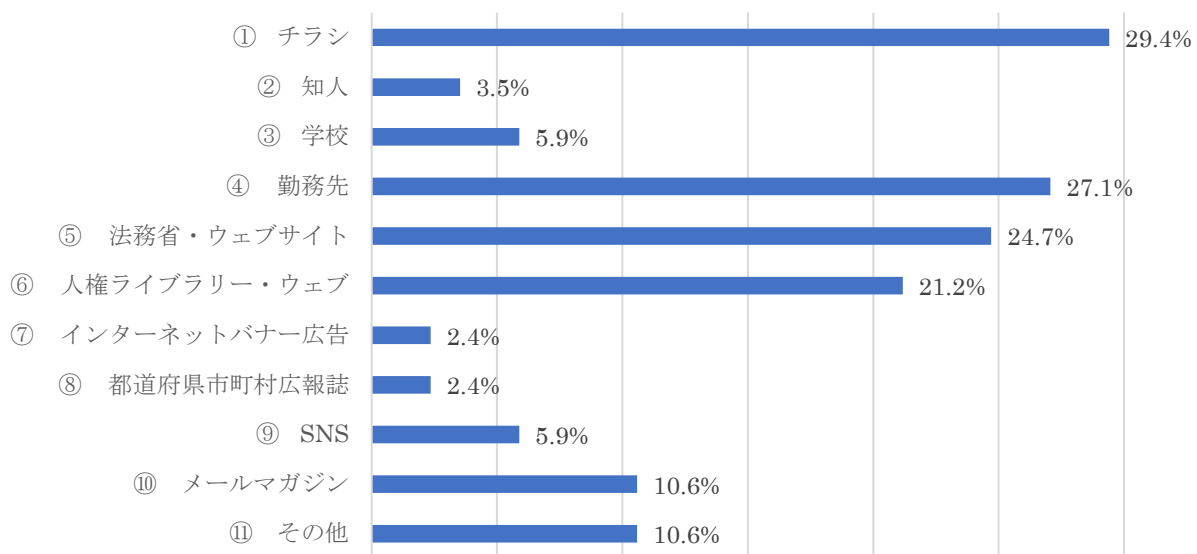
1-4 今回のシンポジウムは誰かと一緒に御覧になりましたか。

(1)	年齢	
1	①一人で視聴した	74件
2	②家族と一緒に視聴した	8件
3	③友人と一緒に視聴した	0件
4	④勤務先の上司や部下と一緒に視聴した	2件
	無回答	1件
	計	85件



2 ハンセン病に関する「親と子のシンポジウム」をどのようにして知りましたか。(複数回答可)

1	①チラシ	25件
2	②知人	3件
3	③学校	5件
4	④勤務先	23件
5	⑤法務省・ウェブサイト	21件
6	⑥人権ライブラリー・ウェブサイト	18件
7	⑦インターネットバナー広告・テキスト広告	2件
8	⑧都道府県市町村広報誌	2件
9	⑨SNS	5件
10	⑩メールマガジン (人権教育啓発推進センター発行)	9件
11	⑪その他	9件
	無回答	3件
	計	125件



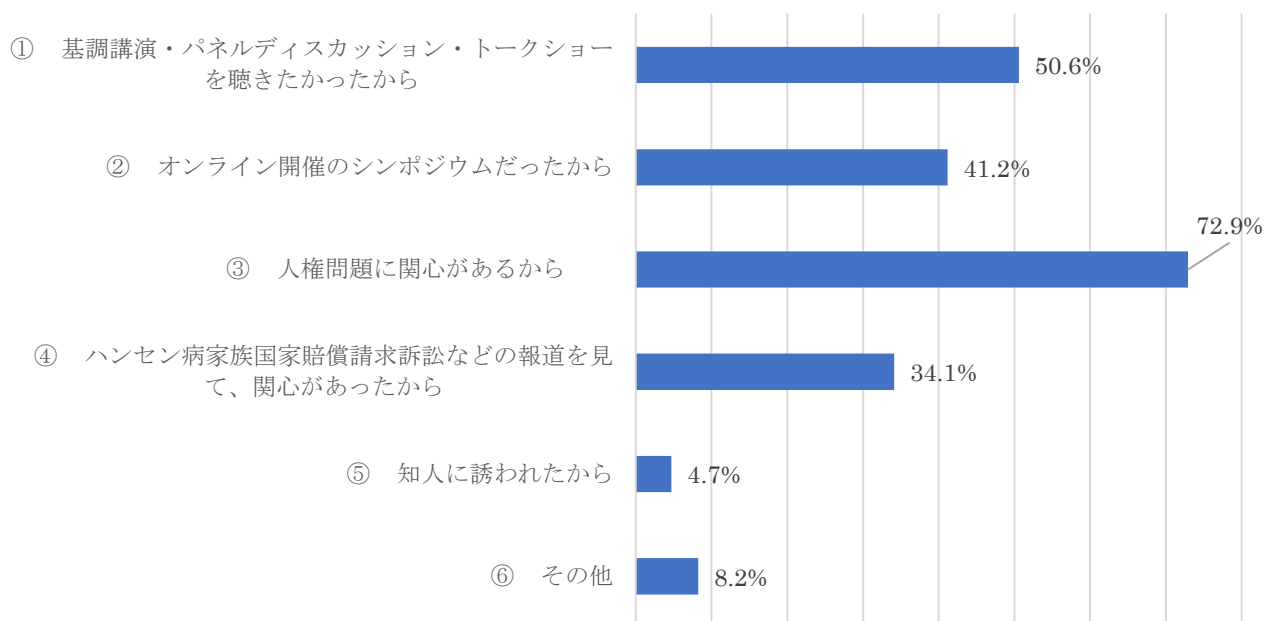
n = 85

※ n (=回答者数) に対する割合

「2 その他」の内容	
石井正則さんの Voicy	1件
アイユ	1件
人権擁護委員協議会からの案内	7件
	9件

3 このシンポジウムを視聴しようと思ったきっかけを教えてください。(複数回答可)

1	① 基調講演・パネルディスカッション・トークショーを聴きたかったから	43件
2	② オンライン開催のシンポジウムだったから	35件
3	③ 人権問題に関心があるから	62件
4	④ ハンセン病家族国家賠償請求訴訟などの報道を見て、関心があったから	29件
5	⑤ 知人に誘われたから	4件
6	⑥ その他	7件
	無回答	2件
	計	182件



n = 85

※ n (=回答者数) に対する割合

「3 その他」の内容

- 今回、部会でハンセン病をテーマに差別問題を考えていこうということになり、タイミングもあり視聴しました。
- 人権擁護委員協議会からの連絡
- 石井正則さんの参加
- 北條民雄氏の本を読み、購入していたため、気になった内容だったので。
- 時々、多磨全生園内の国立ハンセン病資料館を訪ねている。「砂の器」助監督を存じ上げているから。
- 人権擁護委員として見識を深めようと思った
- 大学の講義で、ハンセン病の差別に関して扱われたから。

3で①「基調講演・パネルディスカッション、トークショーの話を聴きたかったから」と答えた方はその登壇者を教えてください。(複数回答可)

1	① 吉幸かおるさん	22件
2	② 黒尾和久さん	23件
3	③ 群馬県の中学生、大学生	33件
4	④ 石井正則さん	36件
	計	114件

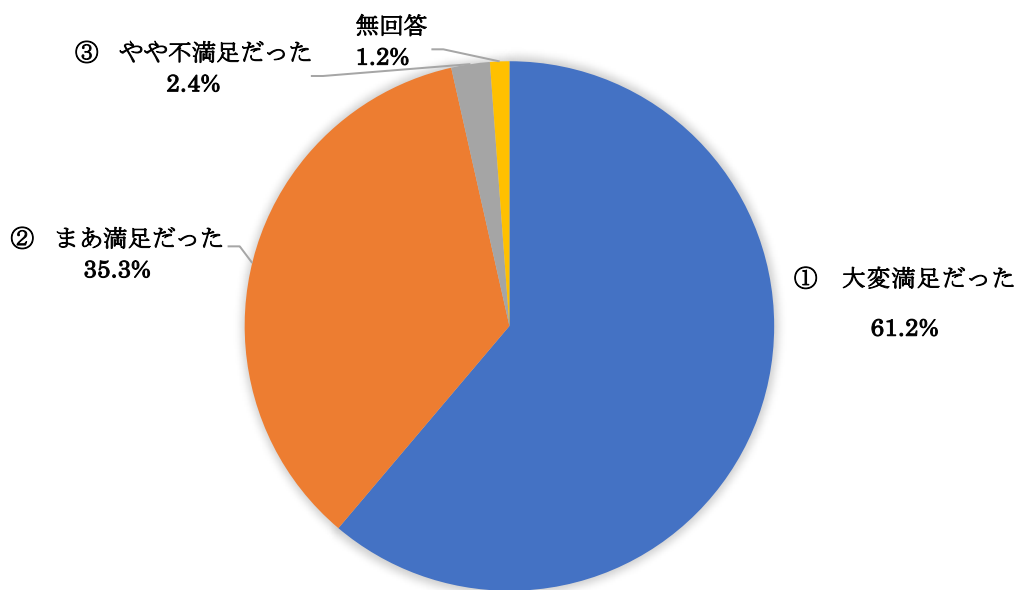


n = 43

※ n (=回答者数) に対する割合

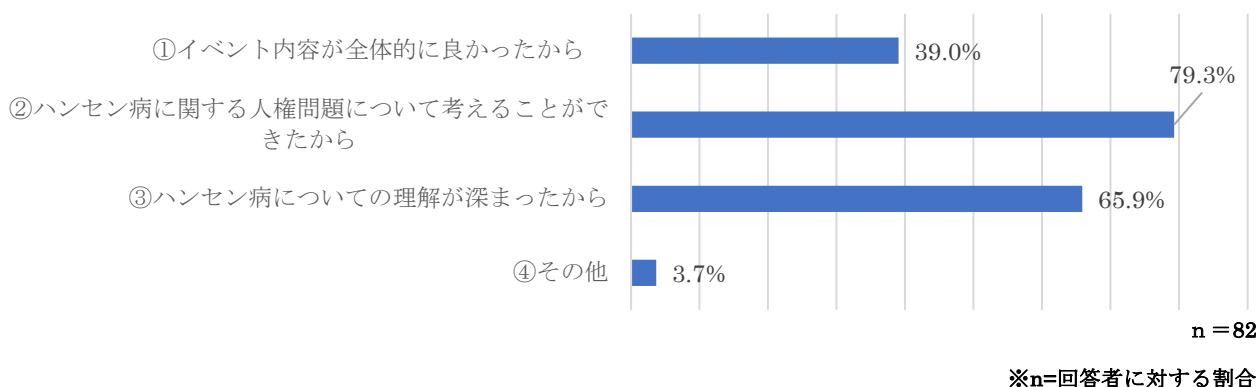
4-1 今回のシンポジウムは全体として満足のいくものでしたか。

1	① 大変満足だった	52 件
2	② まあ満足だった	30 件
3	③ やや不満足だった	2 件
4	④ 大変不満足だった	0 件
	無回答	1 件
	計	85 件



4-2 4-1で「①大変満足だった」又は「②まあ満足だった」とお答えいただいた方に伺います。その理由をお聞かせください。（複数回答可）

1	① イベント内容が全体的に良かったから	32件
2	② ハンセン病に関する人権問題について考えることができたから	65件
3	③ ハンセン病についての理解が深まったから	54件
4	④ その他	3件
	計	154件

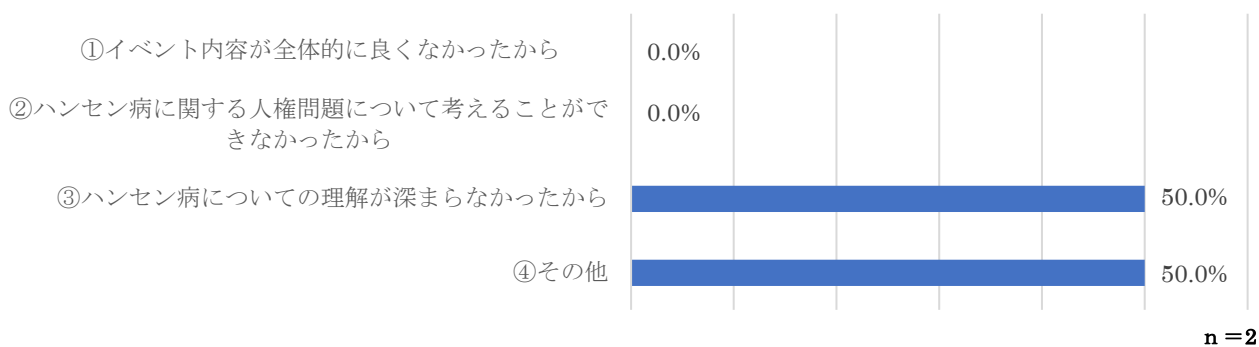


「④その他」の内容

- 全体的に音声聞き取りやすく、字幕も付いていたので視聴しやすかった。聞き取れなかったり話が速すぎて付いていけなかったりすると見る気を削がれてしまうので、大変ありがたかった。
- 石井さんの活動の内容を聞きながら、人権への取り組みとしての指標になった。
- この問題が次世代に継承されそうな気配を感じ取れた。

4-3 4-1 で「③やや不満足だった」又は「④大変不満足だった」とお答えいただいた方に伺います。その理由をお聞かせください。（複数回答可）

1	① イベント内容が全体的に良くなかったから	0件
2	② ハンセン病に関する人権問題について考えることができなかったから	0件
3	③ ハンセン病についての理解が深まらなかったから	1件
4	④ その他	1件
	計	2件

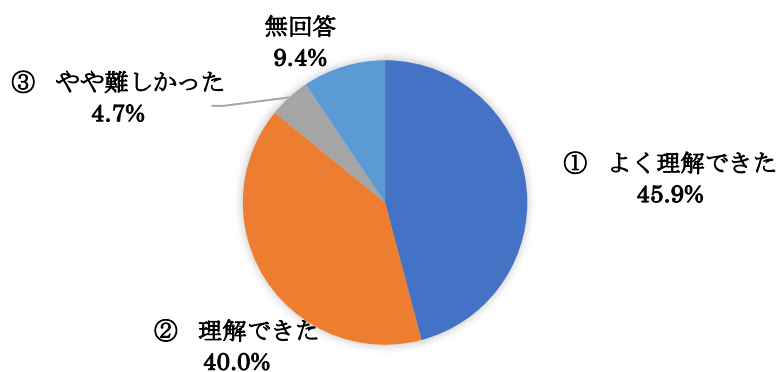


※n=回答者に対する割合

「④その他」の内容
○画質があまりよくなかった

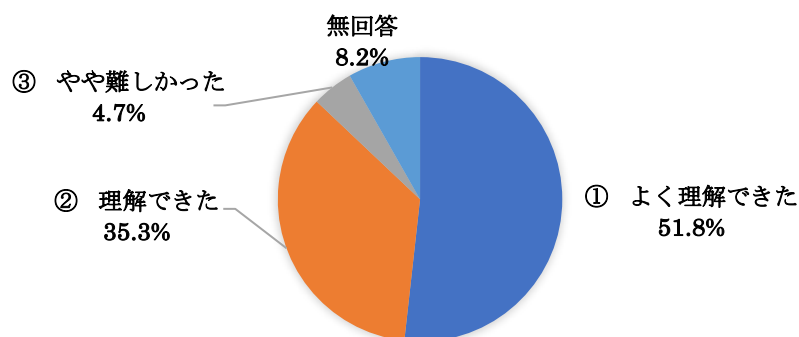
5-1 基調講演（吉幸かおるさん）の内容について伺います。

1	① よく理解できた	39件
2	② 理解できた	34件
3	③ やや難しかった	4件
4	④ 難しかった	0件
	無回答	8件
	計	85件



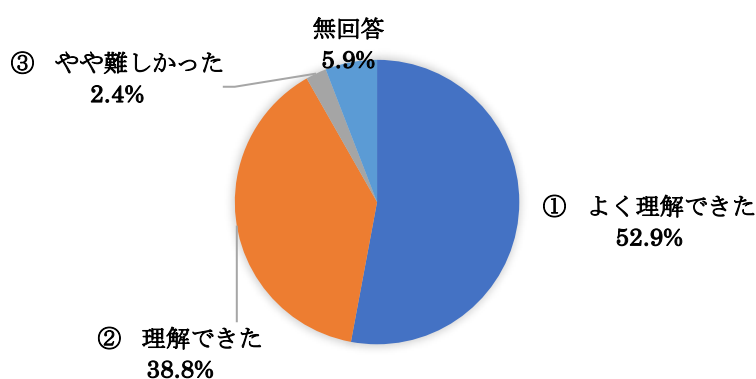
5-2 基調講演（黒尾和久さん）の内容について伺います。

1	① よく理解できた	44件
2	② 理解できた	30件
3	③ やや難しかった	4件
4	④ 難しかった	0件
	無回答	7件
	計	85件



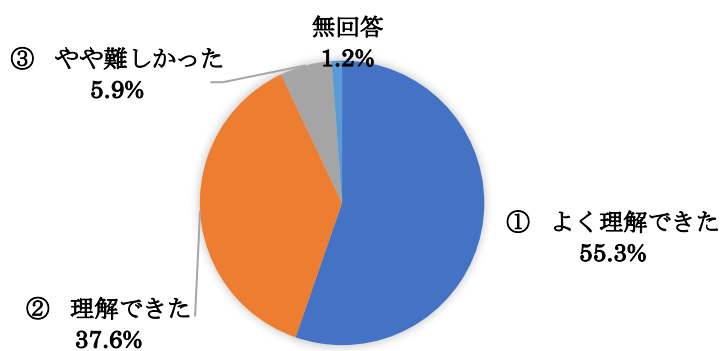
5-3 パネルディスカッションの内容について伺います。

1	① よく理解できた	45 件
2	② 理解できた	33 件
3	③ やや難しかった	2 件
4	④ 難しかった	0 件
	無回答	5 件
	計	85 件



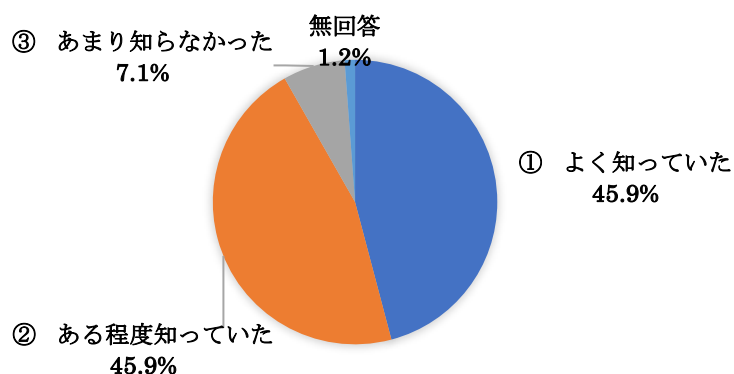
5-4 トークショー（石井正則さん、藪本雅子さん）の内容について伺います。

1	① よく理解できた	47 件
2	② 理解できた	32 件
3	③ やや難しかった	5 件
4	④ 難しかった	0 件
	無回答	1 件
	計	85 件



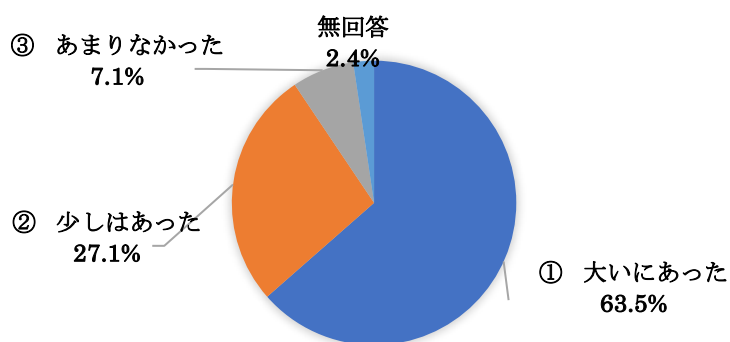
6-1 今回のシンポジウム以前に、今なお社会に根深くハンセン病に関する偏見差別が残っていることを知っていましたか。

1	① よく知っていた	39件
2	② ある程度知っていた	39件
3	③ あまり知らなかった	6件
4	④ 全く知らなかった	0件
	無回答	1件
	計	85件



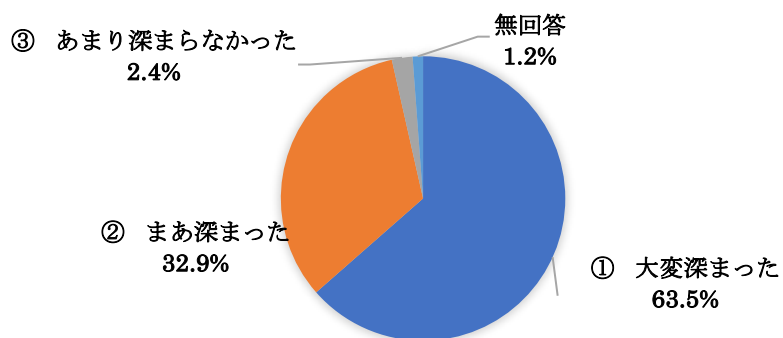
6-2 今回のシンポジウム以前に、ハンセン病に関する人権問題についてどのくらいの関心や理解がありましたか。

1	① 大いにあった	54件
2	② 少しはあった	23件
3	③ あまりなかった	6件
4	④ 全くなかった	0件
	無回答	2件
	計	85件



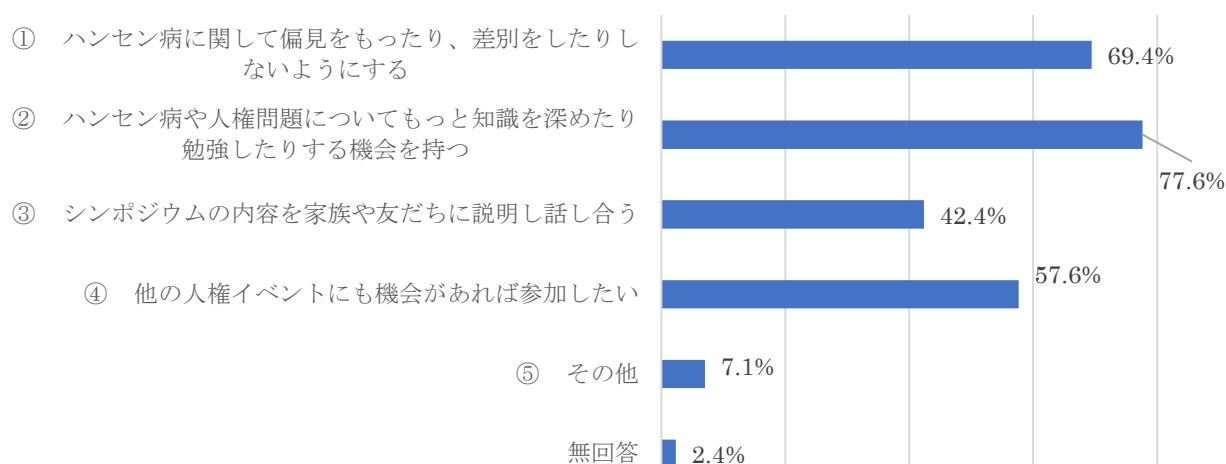
6-3 シンポジウムを終えて、ハンセン病に関する人権問題についての関心や理解は深まりましたか。

1	① 大変深まった	54 件
2	② まあ深まった	28 件
3	③ あまり深まらなかった	2 件
4	④ 全く深まらなかった	0 件
	無回答	1 件
	計	85 件



6-4 シンポジウムに参加して、何か行動しようと思いましたか。(複数回答可)

1	① ハンセン病に関して偏見をもったり、差別をしたりしないようにする	59件
2	② ハンセン病や人権問題についてもっと知識を深めたり勉強したりする機会を持つ	66件
3	③ シンポジウムの内容を家族や友だちに説明し話し合う	36件
4	④ 他の人権イベントにも機会があれば参加したい	49件
5	⑤ その他	6件
	無回答	2件
	計	218件



n = 85

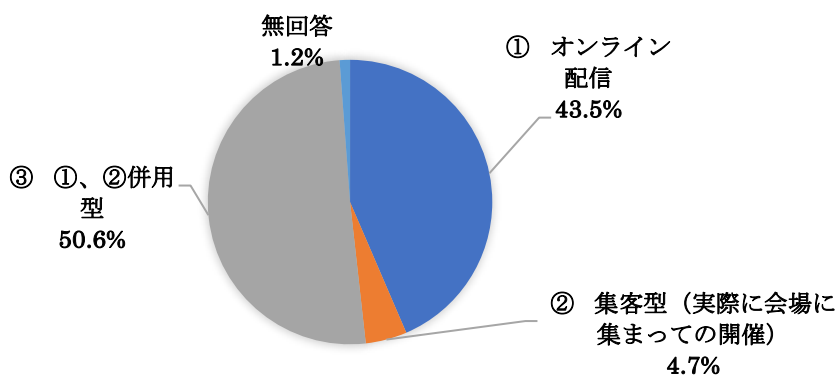
※n=回答者に対する割合

「⑤その他」の内容

- 啓発活動に、更に取り組む、重監房資料館を訪問する
- また、療養所に行きたい
- 実際に施設に行ってみようと思った。石井さんの写真集を見てもうと思った
- これまで、思っているだけで実現していないのですが、資料館等を訪れたいと考えています。
- 人はなぜ差別をしてしまうのかと、考えています。
- 怒るでもなく同情とかでもない。もっと静かで深い、継続的な感情を持って人権問題には取り組みたいと改めて思った。

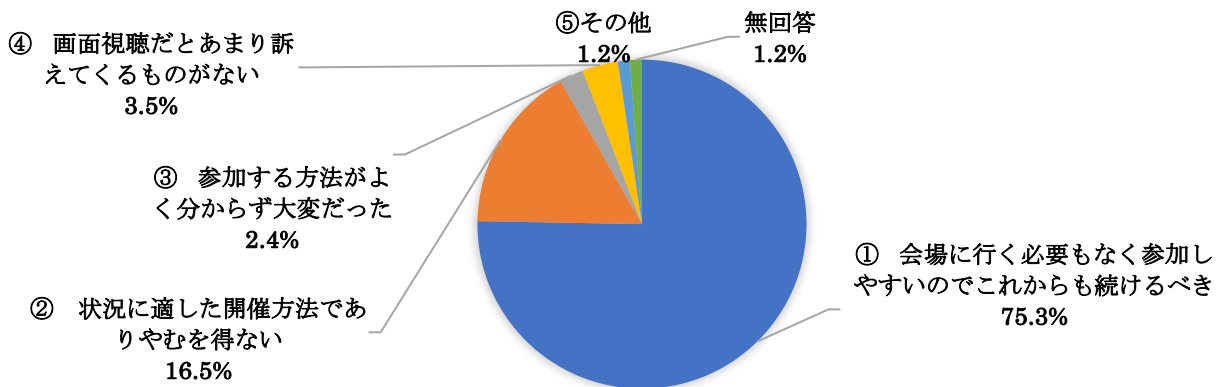
7 今回のシンポジウムのような開催方法は、どの方法がいいと思いますか。

1	① オンライン配信	37件
2	② 集客型（実際に会場に集まったの開催）	4件
3	③ ①、②併用型	43件
4	④ その他	0件
	無回答	1件
	計	85件



8 シンポジウムのオンライン開催について、どう思いますか。

1	① 会場に行く必要もなく参加しやすいのでこれからも続けるべき	64 件
2	② 状況に適した開催方法でありやむを得ない	14 件
3	③ 参加する方法がよく分からず大変だった	2 件
4	④ 画面視聴だとあまり訴えてくるものがない	3 件
5	⑤ その他	1 件
	無回答	1 件
	計	85 件

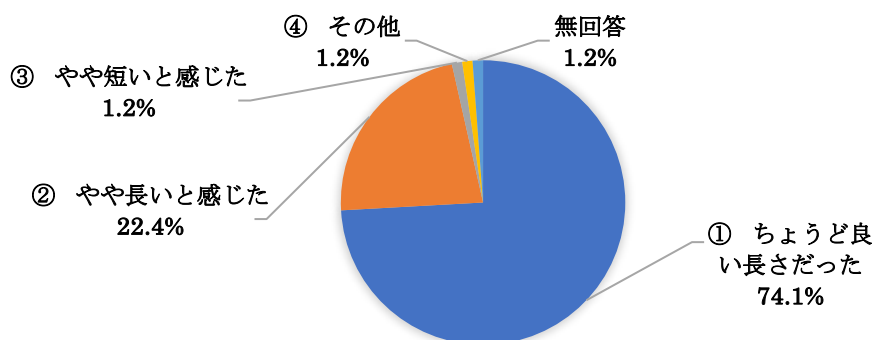


「⑤その他」の内容

○Webは「現実を補完する手段」と考え、対面参加がメインが良いと思う

9 シンポジウムの開催時間について、どう思いますか。

1	① ちょうど良い長さだった	63 件
2	② やや長いと感じた	19 件
3	③ やや短いと感じた	1 件
4	④ その他	1 件
	無回答	1 件
	計	85 件

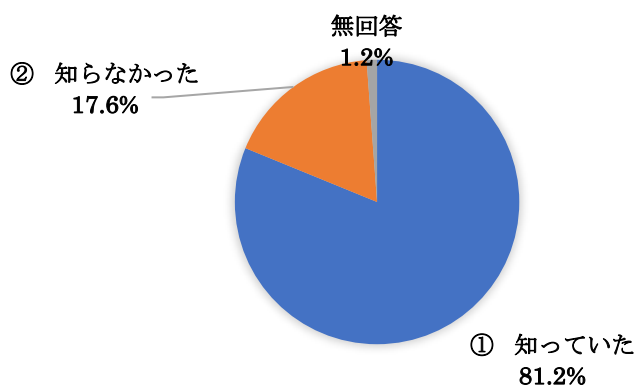


「④その他」の内容

○土曜日昼間の開催、また、オンライン配信のみなので、もう少しコンパクトにまとめた方が視聴率は上がると思われる。

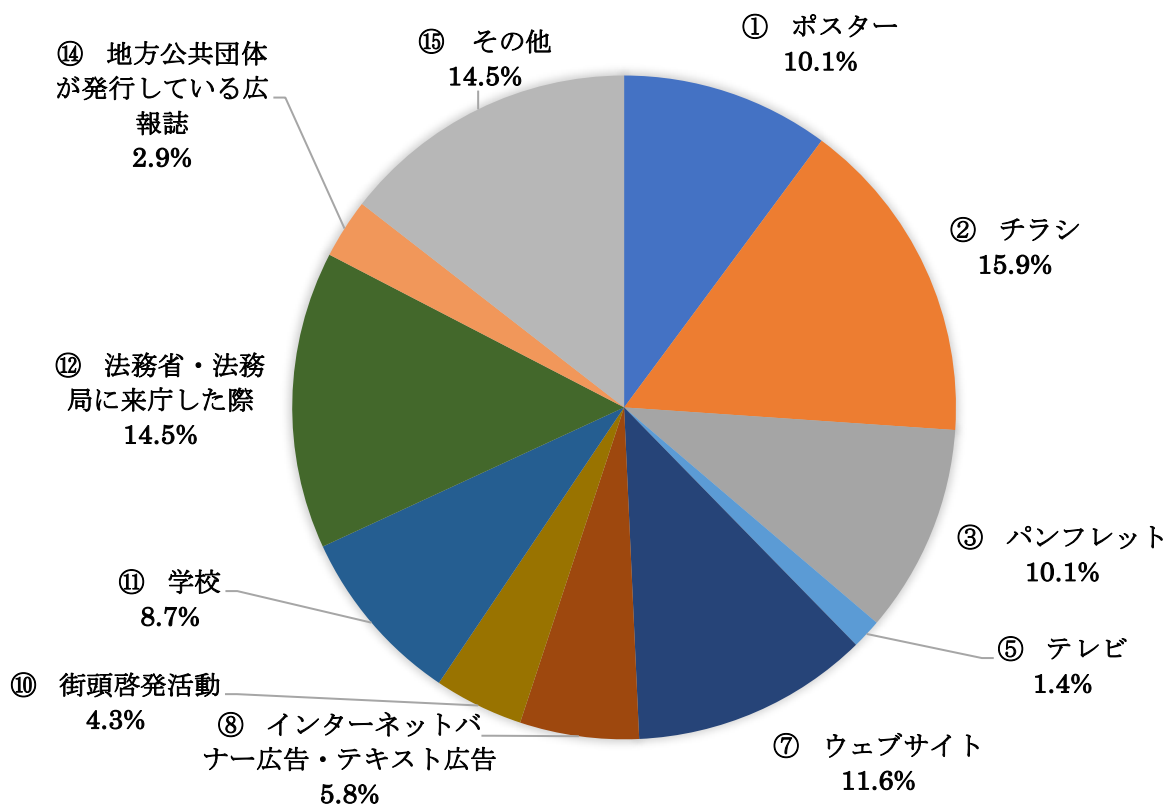
10 本シンポジウムなど、国の人権擁護機関（法務省、法務局・地方法務局、人権擁護委員）が、広く人権啓発活動を行っていることを知っていましたか。

1	① 知っていた	69 件
2	② 知らなかった	15 件
	無回答	1 件
	計	85 件



11 「10」で「①知っていた」とお答えいただいた方に伺います。どのようにして国の人権擁護機関が行っている人権啓発事業を知りましたか。

1	① ポスター	7件
2	② チラシ	11件
3	③ パンフレット	7件
4	④ 新聞	0件
5	⑤ テレビ	1件
6	⑥ ラジオ	0件
7	⑦ ウェブサイト	8件
8	⑧ インターネットバナー広告・テキスト広告	4件
9	⑨ SNS	0件
10	⑩ 街頭啓発活動	3件
11	⑪ 学校	6件
12	⑫ 法務省・法務局に来庁した際	10件
13	⑬ 他の公共機関を利用した際	0件
14	⑭ 地方公共団体が発行している広報誌	2件
15	⑮ その他	10件
	無回答	0件
	計	69件



「⑮その他」の内容	
人権擁護委員に案内頂いた	1 件
法務局職員	2 件
人権擁護委員としての活動。障害者と日々関わる機会があり、就労支援や後見を担当しているから。	1 件
人権擁護委員である。	5 件
研修	1 件
	10 件

12 本日のシンポジウムについての御意見などを、自由にお書きください。※抜粋

コロナ下などどのような状況にあっても今回のようなシンポジウムを毎年開催することは大切だと思います。

今年も、大変すばらしい内容でした。ただ、これだけの内容なのに、周囲では、ほとんど知られていないのが、とても残念です。全ての児童・生徒にチラシを配布すべきと思いますし、TV・ラジオでも、スポットCMを入れるべきです。また、個人的に、周囲の方にPRをしていますが、人権教育啓発推進センターのウェブサイトがわかりにくく、今回のシンポジウムでも、私への問い合わせが複数ありました。前回分の配信については、電話で説明してもなかなか辿り着けないケースがあり、改善していただくと助かります。今回のシンポジウムも、できる限り早く動画配信していただくと、ありがたいです。PRに努めます。

あまり事前周知がされていないように感じました。大切なことなので、もっと多くの人に参加してもらえるように事前周知したらよいと思う。

お疲れ様です。オンラインでの配信、構成のバランスがよく大変聞きやすかったです。昨年度、知人の特別支援学校の先生がハンセン病をテーマに学習を実施しました。その先生によると、障がいのある子どもたちも、卒業後社会に出てから、偏見を受けたりや差別されたりして辛くなり、学校を訪ねてくることのあるそうです。学習では、子どもたちは、療養所に戻らざるを得なかった元患者の姿を自分に重ねて、自分ごとと考える様子があったそうです。ハンセン病に係る人権問題は、もっと多くの人を知り、二度と同じ過ちを起こさないために、学んでいかないとはいけません。

公立小学校に勤める職員です。授業をする職種ではないものの、小規模校ゆえ児童たちとふれあう機会は多く、日常での指導をしたりともに遊んだりしています。元々人権や差別に関する物事に関心がありましたが、一応教育に携わる者としてちゃんと学ばなくてはと思っていたところ、職場で本件のチラシを目にし、視聴しました。職場には度々ハンセン病などの教育資料や通知文書が届くため、内容自体は既知の部分もありましたが、やはり現役で活動に努めて来られた方々のお話は大変勉強になりました。教授用資料の文章だけでは分からない、問題に取り組んでどう思ったか、当事者に接して何を感じたか、そういった生の体験を知る機会となりました。そして、六合中学校の清水さんの発表は学校での取組事例として大いに参考になりました。自分の勤務地ではハンセン病についての教育は盛んではありませんが、人権問題、地域とのふれあいとして近いものを感じ、月並みな表現ですが立派な発表だったと思いました。お疲れ様でした。また、開催方法がYouTubeでのオンライン配信であることも助かりました。自分がネットに親しんできた世代なこともあります。直接参集となると何かと大事で、特に支度もせず家から聴講できるのはありがたいことです。加えて、Zoomのようにミーティングアプリを使わず、事前申込が不要であることも視聴のしやすさに拍車をかけました。YouTubeなら今の若者、子ども達は日常的に使用しており、こうした学びの場にもふれやすく良いと思います。本日は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

貴重なお話ありがとうございました。トークショー中で、療養所や資料館への訪問について「まずは勉強してからと考える方も多いと思うがまずは行ってほしい」ということを聞き、私自身も勉強してからとっておりましたが、まずは行って知るようにしたいと思いました。また、吉幸さ

<p>んや黒尾さんの貴重なお話はもちろんなのですが、中学生や大学生の取組みについて知ることができたことがよかったです。 本日はありがとうございました。</p>
<p>コロナ禍で、このような web 配信で行う人権に関するシンポジウムの開催は、効果的である。今後も継続していただきたい。</p>
<p>ハンセン病についていろんな視点から学ぶことが出来て良かった。重監房のことなど、知らないことも多かった。これをきっかけにハンセン病に対するたくさんの偏見があったことを理解し、伝える機会があれば伝えていけたらと思う。</p>
<p>コロナ禍で様々な課題がある中、開催をありがとうございました。 前回までの研究者や運動者からの講演のみならず、今日とはかく生徒さん学生さんの取組みを聞いたことが良かった。すばらしい発表だと感じました。 また、「こんなポップでよいのか」とご自身で問うてらっしゃいましたが、石井さんの実感を持ったお話に感銘を受けました。みな同じ人間として、花や木に癒され、人に癒される。とにかく現地で触れあって、自身が感じることの大切さを教えてくださいました。同様に、藪本さんについても、きっかけは法廃止時の報道だったとのこと、私自身もそうでしたが、きっかけは何でもよく、その後どのように関わっていくかが課題ですから、一見重たい、その入り口のハードルを下げてくださいましたことがとてもよかったですと思いました。 石井さんの写真集をぜひ拝見したいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症とハンセン病の両方の視点からお話いただいて、とても納得といたしますか、確かに！と思うことが沢山ありました。また、石井さんの著書を読ませていただいて、本にこめた思いを直接伺えて、もう一度、読み返しました。そして、まずは、知ることから。素人で、いい。ということを実感しました。</p>
<p>とても良い企画で勉強になりました。係わっておられる方は本当にすごいと思いました。また、若い方の発表に、素直に感銘を受けました。石井さんのトークショーには、すごく重く受け止めることと、でも前向きに未来に向かって生きていくことの二つを学んだ気がします。</p>
<p>ハンセン病の隔離政策の歴史は、何回聞いても心がいたむばかりです。そして、自分がその渦中の人間だったなら生きていられるか？湧き上がる恨みから正常な人の心を維持できるか？今もある様々な偏見、差別、誤解をわたし自身が持たない様に心掛けたいと改めて思いました。本日のシンポジウムありがとうございました。</p>
<p>オンライン方式はこれからも続けるべきだと思う。できればリアルタイム方式ではなく、一定期間試聴できるようにしてくれればありがたい。</p>
<p>同時視聴者数が250位だったか。web でやっているのに少し残念。どうすれば広げられるかは教職員である自分も含め、関わりを持つ者の課題だと思った。</p>